

ASUKA

CLUB MAGAZINE

四季の
特等席

My ASUKA CLUB

INFORMATION

飛鳥クルーズは、日本船ならではの上質な空間で、和のおもてなしと日本文化の魅力を発信する、至福のクルーズ体験を提供します。「飛鳥Ⅱ」は、「お客様の好みに寄り添う旅」をコンセプトに、全室海側の客室、ゆったりとしたスペースや露天風呂など充実の施設を備え、お客様の嗜好に合わせた多彩な食事やエンターテインメントが特長です。「飛鳥Ⅲ」は、「お客様好みに広がる旅」をコンセプトとし、6つのレストラン、エンターテインメントやウェルネスなど心身を満たすプログラムを備え、より自由に、より豊かに、新たな時代のクルーズを創造します。

飛鳥クルーズ
公式ページ



「飛鳥Ⅱ」「飛鳥Ⅲ」運航会社：郵船クルーズ株式会社
Tel/0570-666-154 (ナビダイヤル) 営業時間 10:30～17:00 (土・日・祝休み)
※一部のIP電話、国際電話の方はご利用いただけません。
※掲載内容は2026年6月時点の情報です。
飛鳥クルーズ公式HP：<https://www.asukacruise.co.jp>

My ASUKA CLUB



My ASUKA CLUB ～飛鳥クルーズを極める会員クラブ～
「飛鳥Ⅱ」と「飛鳥Ⅲ」に会員割引旅行代金でご乗船いただけるなど、お得な特典や飛鳥クルーズをより楽しみたいだけの情報を配信。ご乗船の有無にかかわらず、2歳以上ならどなたでもご登録いただけます(入会金・年会費無料)。ご入会はこちらから <https://myac.asukacruise.co.jp>



洋上の潤景
Beautiful SCENERY
on the *OCEAN*

“洋上”という特等席
だからこそ見える
特別な景色。
自然が織りなす奇跡の瞬間を
お届けします。

photographer:
SUSUMU TSUNODA
writer:
MIO AMARI

紀伊半島沖の 夏空と海

黒潮が寄せる紀伊半島沖の朝、夏の湿り気を含んだ空気が、
水平線にほどける。熱を帯びはじめた陽射しに呼応し、ゆっくと膨らみ
はじめの綿雲。帯のように連なる群れが光を受け止め、大海原へと返していく。
波間に散る反射が、海と空の境を揺らしながら、淡くにじむ。
風いだ海はまだ何も語らない。やがて満ちる一日を、内に秘めている。

8月末、香川・高松港を出港し、和歌山・新宮港へ向かう「飛鳥Ⅲ」が那智勝浦沖を
航行中に撮影したものです。船の最上層に位置する13デッキ(スターライトデッキ)は見晴らしが良く、
高所から奥深く海と空を一望できます。海上では夏季特有の対流活動により、
低層の積雲が帯状に発達し、風に沿って雲列が形成されていました。



千光寺山から望む尾道

魅

その土地が育んだ、
美の神髄を
訪ねて



Photo:Nacasa & Partners Inc.

賢人たちの知性に触れ、
澄み渡る秋の海と対話する

実りの秋、美しく色づく日本の美を求めている船出。贅沢な季節の始まりです。「飛鳥Ⅲ」だからこそ叶う、長い歴史の中で磨かれてきた日本工芸を訪ねる旅。今秋は、重要無形文化財保持者（人間国宝）をはじめ、文化の賢人が航路ごとに、かわるがわる乗船します。至高の知性と技が交差する稀有な機会は、他に類を見ません。MOA美術館長やノーベル賞受賞者の生の声に触れ、尽きることのない知性を深める贅沢。連綿と受け継がれてきた伝統の技法、息をのむ美の

プロセスや情熱の物語が克明に明かされます。船内では作品展示のほか、特別対談や趣向を凝らした講座など大人の知的好奇心を満たす催しを用意。そこでは日本文化の担い手たちが紡ぐ言葉を通じ、日本が連綿と育んできた精神性の神髄に触れる格別な瞬間が待っています。波の音に包まれ伝統に深く浸る時間は、日本の豊かな文化を五感でなぞるとき。景色を眺めるだけではない、洋上でしか巡り合えない本物の感動に出会う旅がここにあります。

秋実りの宴、芸と彩に満ちる海

旬の味覚を楽しみ、鮮やかに色づく山々を訪ねる。
賢人たちの知に触れ、心豊かな刺激に胸を躍らせる、贅沢な休日。

実りの一皿
豊穡を慈しむ



味

旬を尊ぶ、極上の一皿
夏の強烈な陽光を浴び、静かに実りを迎えた秋の食材。そこには自然のサイクルがもたらす生命力が凝縮されています。古来、日本人が「旬」を尊んできたのは、その一瞬こそが最も栄養に満ち、五感を満たす最高に美味しい瞬間だと知っていたから。そんな四季の恩恵と先人の知恵を現代に紡ぎ、秋の味覚を極上の一皿へと仕立てるのが「飛鳥Ⅲ」の料理。洋上で味わう最上の秋。自然が育んだ本物の贅沢を、心ゆくまで。

一瞬の美を巡る秋の旅

秋の深まりとともに、日本各地から厳選された寄港地は鮮やかな色彩に染まります。例えば、白亜の姫路城を借景に映し出す、好古園の幻想的な夜間紅葉。歴史を物語る城壁の白と、燃え立つような木の葉の赤が織りなす見事な対比は、この時期のこの場所でしか出会えない絶景です。自然の営みと人の叡智が調和する、一瞬の美を巡る特別な秋の船旅。「飛鳥Ⅲ」が選び抜いた格別の秋景色との出会いを、ぜひお見逃しなく。

白亜の城壁、
紅葉に染まる夜

Photo:Hideaki Tanaka



観

SPECIAL FEATURE
Four SEASONS on
ASUKA III

「飛鳥Ⅲ」は、日本の美しさを五感で享受するための動く特等席です。華やかなエンターテインメントに魅了され、客室から移ろう景観を独り占めする。そして、今を凝縮した季節の味に舌鼓を打つひとときは、至福の充足感をもたらします。この「魅・観・味」の響き合いは、旅をより豊かに彩ります。海の上で出会う旬の輝きに包まれて、心満たされる物語が始まります。

四季の特等席

「飛鳥Ⅲ」だからこそ叶う
旬の輝き

「魅・観・味」が共鳴する

春に出会う 知性と感性の交差点

Photo: Ayako Yamamoto



Photo: AFLO

魅

知を愛で、美に麗う春。
五感を満たす洋上の芸術祭

早春の凜とした空気から、芽吹きの春へと移ろう華やかな旅路。「飛鳥Ⅲ」では、季節ごとに趣の異なる珠玉のエンターテインメントを用意しています。

和の文化に染まる早春の航海では、厳しい修練により受け継がれてきた伝統芸能に焦点を当てます。東儀秀樹氏の紡ぐ雅楽器の調べや、中村隼人氏が魅せる歌舞伎の様式美。日本文化の

奥深さと、洗練に直に触れる格別な機会です。幾世代もの時をかけて磨き上げられた技が、洋上で鮮やかな輝きを放ちます。

一方、柔らかな光に包まれる春の航路では、オペラやミュージカルの名曲が船内に流れます。それぞれの季節が持つ美しき情緒。洋上だからこそ出会える本物の舞台が、新しい一年の始まりを豊かに彩ります。

春花を追い求め日本の「粹」を謳歌

各地の桜前線と旬の味覚を追い、伝統芸能の真髄に酔いしれる。
移ろう季節を洋上から愛でる、日本の美を慈しむ春の旅へ。

器に咲く、春の美食

味



春の息吹を
全身で愛でる

一年の始まりを祝う早春から、生命が瑞々しく芽吹く春へと。「飛鳥Ⅲ」では、季節の移ろいと並走する特別な美食を用意。初春を彩るお祝いのメニューから、春の深まりとともに、料理は軽やかさと華やかさを帯びていきます。実りの秋とは趣を変え、ほろ苦い山菜や芽吹ききの野菜など、この時期だけの旬の息吹を凝縮。窓外に広がる柔らかな表情の海を眺めながら、新しい季節の輝きを映し出した一皿を味わう、心豊かなひとときを。

弘前の夜桜、幻想に浸る

Photo: AFLO



観

春の彩、
各地の美を訪ねて

新春を告げる名刹寺を巡る初詣から、美しく桜色に染まる北国へ。「飛鳥Ⅲ」が厳選した春の航路では、松島や函館など各地で咲き誇る桜が船旅を彩ります。春めぐりクルーズの注目の地は、寄港地観光ツアーで訪ねる青森の弘前公園。日本三日夜桜として名高い同園では、まるで夢のような世界に浸ります。年始の厳かな祈りから、華やかな桜の情景へ。移ろう景色を五感で愛でるひとときは、新たな年を飾る格別な船旅となるでしょう。

煌めく船内、 笑顔が重なる冬

優雅な静寂に包まれる大人の聖夜

夜の灯りが海に揺れる頃、しんと冷えた静寂の中にも温もりを灯すような、大人のクリスマスが幕を開けます。煌びやかな「飛鳥Ⅱ」の聖夜とは趣を変え、静けさの中に、気品漂う装飾が優雅に佇む「飛鳥Ⅲ」の船内。街の喧騒から遠く離れた洋上に、心地よい静けさと、夜の煌めきが広がります。温もりを感じさせる柔らかな光と優雅に流

れるジャズ。肩の力を抜いて、大切な人とただゆつくりと語り合う特別な聖夜が、ここにあります。星空を仰ぎ、心地よい静けさに浸る時間は、自分自身を取り戻すという贅沢。そんな非日常の航海が、今冬も始まります。「飛鳥Ⅲ」では各地の港から出発する、多彩なクリスマススクリーンを予定。忘れられない物語が、冬の海を楽しくします。

観



Photo: TOMOO SHOJU(BOIL)

冬ジャズと美食、光が溶け合う夜

静かな海を彩るジャズ、煌めく光、そして五感を揺さぶる美食。
胸の高鳴る冬の物語が、ここから動き出します。

煌めく海で、至福の晚餐を

味



聖夜を揺らす
奇跡の旋律

冬の海に揺られながら、文化の香りに酔いしれる贅沢な一夜。「飛鳥Ⅲ」が、ジャズクラブ「ブルーノート東京」が厳選する超一流の奏者を迎えます。本場ニューヨークの系譜を継ぎ、世界のトップが名演を刻んできた斯界の聖地。その知性と熱量を宿した旋律が、ステージを熱く満たします。興奮に包まれた後は、海を眺めながらそれぞれの距離感で極上の余韻を味わう。洋上でしか出会えない奇跡の空間が、玄冬の夜を彩ります。

五感を揺さぶる
食の芸術

窓の外に広がる街の煌めきを背景に、ドラマチックな出港を見守る贅沢。「飛鳥Ⅲ」の聖夜は、そんな優雅な夕暮れ時から始まります。

夜が更ける頃、誰もが笑顔になる特別な晚餐がスタート。洗練の一皿を次々と繰り出す見事なプレゼンテーション。食後は特別なカクテルを片手に、星空を仰ぐ展望ラウンジや、ジャズが静かに流れるバーで心地よい余韻にゆったりと浸る。そんな感動が、ここにはあります。

ジャズの熱気に酔う

魅





洋上で味わう、
清涼のジェノベーゼ

艶やかな緑をまとったジェノベーゼは、
なんとも清々しい佇まい。
バジルではなく大葉を用いることで、
鼻に抜けるような爽やかな香りに。
ソースに用いるアサリの出汁や松の実が
その風味を際立たせます。
海の泡をイメージして製作された
ペルナルドのアイコン的デザイン
「エキューム」コレクションのプレートで
洋上のひとときを優雅にお楽しみください。

飛鳥クルーズで味わうスペシャリテ

SPECIALTY
to Enjoy

高い評価を博す飛鳥クルーズの美食。
その中から厳選した一皿を
誕生の物語を添えてご紹介。
至福の味わいをご堪能ください。

photographer:
SUSUMU TSUNODA
writer:
MIO AMARI

ASUKA III Abmare

GENOVESE
PASTA
WITH SHISO

ジェノベーゼ
大葉の
「飛鳥Ⅲ」アルマール



ひと皿への期待を高める
「うねめの里大葉」

福島県郡山市を潤す名水・安積疏水と、
おからと粃殻で育てた豊かな土壌が生む
「うねめの里大葉」は、みずみずしく深みのある味わい。
丁寧な手作業による収穫が、またとない品質を約束し、
ひと皿の印象を鮮やかに引き上げます。



ユネスコ世界遺産の地で醸造された
特別な一本とともに

ワイナリー創立50周年を記念してつくられた
特別な白ワイン「チンクエ テッレ セレツィオーネ チンクアンタ」。
ユネスコ世界遺産に登録されたイタリア・リグーリア州の
急斜面で育ったボスコ種由来のミネラル感と、
バリック発酵・熟成による厚みが、大葉の香りに寄り添います。

口 に入れた瞬間、鮮烈な香りが鼻へと駆け抜け、驚くほど青々とした清涼感に満たされていきます。厳選した食材を至高のひとつ皿へと昇華させるブレゼンテーションストラン、「飛鳥Ⅲ」アルマールのシグネチャーマニエー「大葉のジェノベーゼ」は、日本の食材でパスタを表現したいという発想から生まれました。ただ、「一般的な大葉ではざらつきが舌に残ってしまふ」とエグゼクティブシェフ。あちこち探し回った挙句、福島県郡山市で栽培される「うねめの里大葉」と運命的な出会いを果たしました。土づくりにこだわり、安積疏水の清冽な水で育てられたそれは、芳しい香りやわらかな食感で、アサリの出汁や松の実と重なり合うことにより、料理に一層の奥行きをもたらします。舌の上でパスタがほどけるたびに広がる繊細な味を、ミネラル感たっぷりのワインとともに味わえば、洋上のひとときはいつそう忘れ難いものとなるでしょう。

STYLE for Cruise

船旅をさらに楽しくしてくれるのが、
各シーンを意識した装いの工夫。

飛鳥クルーズでの旅に映える、
そして簡単な装い方をご紹介します。

photographer:
SHIN KIMURA
stylist:
CHIHARU OSAWA
editor:
HIROMITSU KOSONE

SUMMER CASUAL

シ

ーンに応じた装いはクルーズ旅を優雅にするエッセンス。とはいえ、実際にどんな服装をするべきか迷う方も多いのではないだろうか。そこで今回は、日中を過ごすカジュアルスタイルや「カジュアル」のドレスコードが設定されている場面での具体例をご紹介します。

いのが、夏のクルーズにふさわしいエレガントな解放感です。おすすめは、波に映える水色のシャツと、潮風に揺れるプリント柄のブラウス。どちらも夏ならではの軽快さを演出しつつ、ラフな休日カジュアルとはひと味違う上品さを演出できるのがポイントです。涼やかな着心地はデッキの上でも快適で、ナイトタイムらしいシックなアレンジも可能。ワードローブに一着加えれば、船上で大いに重宝することでしょう。

涼やかさと 上品さの両立で 夏の船上に 優雅な解放感を

〈男性〉ベーシックなポロシャツも水色にするだけで新鮮。より涼しく過ごしたいなら、サラリとしたリネン素材のシャツもおすすめです。
〈女性〉ふわりとしたドレープにエレガンスが薫るプリントブラウス。
左はダイヤモンド柄、
右は華やかなボタニカル柄と、
バリエーションも多彩です。
左から1万6500円、2万9700円、3万6300円、2万9700円／以上ポール・スチュアート (SANYO SHOKAIカスタマーサポート) Tel/ 0120-340-460



「サマーカジュアル」の定番は 水色シャツと プリントブラウス

ブルー＆ホワイトで
爽やかにまとめて

色数を絞って
上品なムードに



DAY TIME

昼間のカジュアルは 白を合わせて 爽やかに

水色シャツ・プリントブラウスともに相性抜群なのが白のパンツ。昼の洋上らしい爽やかなカジュアルスタイルを築けます。
〈男性〉水色シャツの彩りをパンツの白が引き立てる装い。靴やベルトもさりげなく同系色のネイビー系でまとめています。
〈女性〉色数を絞り、ベージュ＆ホワイトで全身を統一すると上品。ゴールドのアクセサリで華やぎも添えて。

〈左〉ブラウスは右頁と同じ。パンツ3万9600円、ニット2万9700円／以上ポール・スチュアート (SANYO SHOKAIカスタマーサポート) Tel/ 0120-340-460 帽子4万7300円／ランパン コレクション Tel/ 0120-370-877 ネックレス9900円、イヤリング8800円、ブレスレット7700円／以上アビステ Tel/ 03-3401-7124 バッグ8万5800円／ビバチャラ (ビバチャラ ジャパン) Tel/ 042-843-9328 サングラス8690円／アウトドアプロダクツ (アウトドアプロダクツカスタマーセンター) Tel/ 06-6948-0152 靴2万5300円／マドラス Tel/ 0120-30-4192 〈右〉ポロシャツは右頁と同じ。パンツ2万9700円、ジャケット5万9400円、ベルト (参考商品)／以上ポール・スチュアート (SANYO SHOKAIカスタマーサポート) Tel/ 0120-340-460 靴6万6000円／三陽山長 (三陽山長 日本橋高島屋S.C.店) Tel/ 03-6281-9857



夜はジャケットを 羽織って シックさを演出

よりシックな雰囲気を楽しみたい場合は、水色シャツやプリントブラウスの上にジャケットをプラス。清涼感とエレガンスが共存する装いを築けます。
〈男性〉ネイビーブレザーを合わせつつ首元にストールをあしらってドレスアップ。
〈女性〉ブラウスと共生地のスカートでワンピース風に。さらにノーカラージャケットを重ねてエレガントに。

〈左〉ブラウスは右頁と同じ。ジャケット5万9400円、スカート3万9600円／以上ポール・スチュアート (SANYO SHOKAI カスタマーサポート) Tel/ 0120-340-460 ネックレス114万9500円、イヤリング60万5000円／以上ロイヤル・アッシャー (ロイヤル・アッシャー カスタマーサービス) Tel/ 0120-407-957 バッグ15万4000円／ロド (和光) Tel/ 03-3562-2111 靴1万6500円／ワシントン (銀座ワシントン銀座本店) Tel/ 03-3572-5911 〈右〉シャツは右頁と同じ。ジャケット9万9000円、パンツ3万6300円、チーフ5500円、ストール9900円、ベルト1万6500円／以上ポール・スチュアート (SANYO SHOKAI カスタマーサポート) Tel/ 0120-340-460 靴10万2300円／三陽山長 (三陽山長 日本橋高島屋S.C.店) Tel/ 03-6281-9857

首元のストールで
ドレッシーに



NIGHT TIME

セットアップで
ワンピース風に



Dinner

聖夜の洋上で
五感で味わう美食を

伝統のフンドボーで仕上げた
黒毛和牛のローストがメインを飾り、
デザートには香ばしい
ショコラ ナッツ オルゾオを用意。
至福のフレンチフルコースが
聖夜を美しく彩ります。



Cocktail

4つのバーで
オリジナルカクテルを

個性豊かな4カ所のバーを巡る、
贅沢な“カクテルの旅”へ。
パスポート1枚で各バー限定の
オリジナルカクテルを
それぞれ1杯ずつ楽しめます。
お酒が苦手な方にノンアルコールも。



「飛鳥II」
テーマクルーズという選択

STYLE for
Cruise

音楽、文化、芸術……
ひとつのテーマに基づいた
世界観を洋上で楽しむ
「飛鳥II」のテーマクルーズ。
その魅力に迫ります。
さて、今回のテーマとは。

photographer:
TOMOO SHOJU(BOIL)
HIROSHI ABE
writer:
KAZUOMI IZAWA



洋上がXmas一色に!

「飛鳥II」
クリスマスクルーズ

CHRISTMAS on ASUKA II

Entertainment

海に浮かぶ劇場で
心揺れる感動体験を

世界中から選抜された専属シンガーと
ダンサーが贈る「飛鳥II」オリジナルの
本格ステージ。聖夜を彩る
名曲と華麗なダンスが
ダイナミックな演出とともに
ギャラクシーラウンジを感動の渦に。



Information

魅惑のテーマクルーズが
2026～'27年も続々登場

お客様・船・演者が一体となる「飛鳥II」のテーマクルーズ。
2026年は7月に船内が南国風に彩られる
「HULA ON ASUKA II」、9月に名門ジャズ・クラブ
「Blue Note Tokyo」の世界を楽しめる
「JAZZ ON ASUKA II with BLUE NOTE TOKYO」、
2027年は4月に名曲尽くしの
「ザ・グレン・ミラーオーケストラクルーズ」を予定。
詳しくはホームページでご確認ください。



吹き抜けにそびえる
巨大ツリーを筆頭に、船内を
埋め尽くす多くのツリーや
輝くオーナメントが
聖夜を彩ります。
愛らしいサンタのオブジェが
迎えるフォトスポットや、
落ち着いた空間に映える
黄金色の装飾。柔らかに灯る
光が「飛鳥II」ならではの
特別なひとときを演出します。

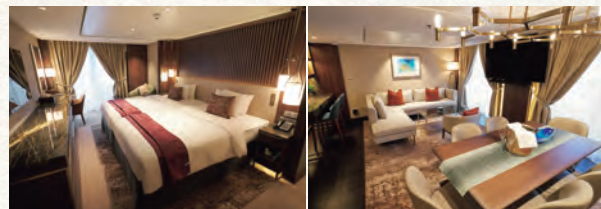
夕 日に染まる横浜港を後
にした「飛鳥II」。一歩足
を踏み入れば巨大なツリー
が、ゲストを非日常へ誘います。
船内を彩るオーナメントやサン
タのフォトスポットが一気に心
をクリスマスへと染め上げ、夜
が深まるにつれ、その世界観へ
の没入感はさらに高まりました。
ラウンジのショーや「カクテル
パスポート」を片手にバーを巡
る時間。ダンスに興じる紳士淑
女、サンタを探し回る子供たち。
世代を問わず、船全体が一つの
物語に入り込んだような一体感
に包まれるのは、クルーズ旅な
らではの贅沢です。

陽光が煌めく二日目。5デッ
キでは武蔵野調理師専門学校の
学生によるジンジャーブレッド
ハウス（お菓子の家）の制作が披
露されました。ひたむきな学生
とお客様の視線が重なり、会場
は大きな歓声に包まれます。お
客様・船・演者が一つに溶け合
う温かなひとときは、最高にエ
モーショナルな贈り物となりま
した。こうした笑顔の繋がり
「飛鳥II」が大切に育んできたお
もてなしの形。今年のクリスマ
スクルーズではどんな光景が広
がるのか。洋上の聖夜でしか味
わえない特別な体験が、今年も
お客様を待っています。

贅を尽くした「飛鳥Ⅲ」の最上級客室クラス「ペントハウス」での滞在は、非日常を体感できるラグジュアリーの極み。比類なきクルーズ体験を叶える、“特別なおもてなし”を一つずつ紐解きます。



グランドペントハウスの内装は、“EARTH”をテーマに、水や石、砂漠や海を想起させる深い色合いと質感の素材で構成。浴槽には高級感のある上品な光沢の大理石を採用し、約160cmの広さで足を伸ばせます。シャワーブースが別に設けられ、湯浴みそのものをゆったりと愉しめる設えです。



広々としたバルコニーを有する約93㎡の客室は、リビング&ダイニング、ベッドルームからも空と海の絶景を望める贅沢な設え。書斎も備え、思いおもいに寛げる空間が広がります。ご乗船時にはウェルカムドリンクやスイーツ、フィンガーフードなども用意され、特別な時間を心ゆくまで満喫できます。

クルーズ客船の一般的な客室にはバスタブがなく、シャワーブースのみが大半です。そうした中で、飛鳥クルーズは、初代「飛鳥」から全客室にバスタブを設え、非日常的な洋上のバスタイムを大切にしました。とりわけ「飛鳥Ⅲ」に用意されたグランドペントハウスのバスルームは、その思想をさらに推し進めた空間。大理石を用いた浴槽に身を預け、ジェットバス of 水流に包まれて足を伸ばせば、大海原を目の前に湯浴みする贅沢をしみじみと味わえます。航路によって移ろう海の色、水平線の光の変化を感じて過ごすひとときは、単なる入浴を超えた、忘れがたい体験となるでしょう。誰にも邪魔されない上質な癒しを、ぜひ次の船旅で。

気品ある
ジェットバス

グランドペントハウス

海が望める大きな窓で
とにかく開放感抜群



ASUKA CRUISE ART COLLECTION

アートとともに旅する贅沢なひととき。
「飛鳥Ⅲ」には日本を代表する作家の作品が船内各所に展示されています。
その魅力を一作品ずつご紹介しましょう。

photographer: SUSUMU TSUNODA
writer: MIO AMARI



ようこうようえい 耀光耀瑛 室瀬和美

on ASUKA III DECK 5 アスカプラザ

1950年東京都生まれ。1976年東京藝術大学大学院美術研究科漆芸専攻修了。
2008年重要無形文化財「蒔絵」保持者（人間国宝）に認定、紫綬褒章受章。
2021年旭日小綬章受章。2024年選定保存技術「漆工品修理」保持者に認定。
現在、公益社団法人日本工芸会参与、東京国立博物館評議員などを務める。作品は文化庁、東京藝術大学、V&A博物館、メトロポリタン美術館、大英博物館などに収蔵。



特設サイト「飛鳥Ⅲ ART COLLECTION」
（二次元コードより以下URLにリンク）
<https://a3art.asukacruise.co.jp/>

船

の中心となる3層吹き抜けの空間でひととき、存在感を放つのが、高さ約9m、幅3mという桁外れの壁画作品「耀光耀瑛」。漆芸家で人間国宝の室瀬和美さんが、未来に輝き進むという願いを込め、天空から燦めき注ぐ光と、海面に映り込む透明な輝きの情景を表現したものです。見上げるようなスケールの中で、金箔地を背景に、蒔

絵による繊細な描写と白蝶貝、金砂子が幾層にも重なって生まれる光の揺らぎは、まさに圧巻。黒漆地に夜光貝を細長く切り並べ、漆を塗り重ねて研ぎ出す螺鈿表現によって現れる艶やかな光も目を引きまします。「これまでにない規模だからこそ、試行錯誤を重ねながら、より効果的な表現を探り続けました」と室瀬さん。近くでも遠くでも成立するよう設計された本

前例なき規模で描く
光のエネルギー。
未来に輝き進む
願いを込めて